

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999		
目的	貿易業界で必要とされる専門知識、専門資格、技能を備え、実社会に通用する人材の育成を目標とする。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
商業実務	商業実務専門分野		国際貿易科		平成22年文部科学大臣告示第31号		—
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1810	1895	195	104	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
60人		18人		2人	17人		19人
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価		
長期休み	■夏 季:8月9日～9月11日 ■冬 季:12月25日～1月11日 ■学年末:3月10日～4月3日			卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書等)提出			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 貿易、物流業界など ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する平成28年4月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	通関士試験、貿易実務検定、国際航空貨物取扱士、ビジネス能力検定(B検)、実用英語技能検定、TOEICなど		
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成27年5月1日 在学者 14名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 14名 (平成28年3月 卒業者をを含む)		■中退率 0%				
	■中途退学の主な理由						
	■中退防止のための取組						
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/aftc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員との意見交換により、企業視点を軸としてグローバル社会において必要とされる知識・技能の修得を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
平野 孝文	日本通運株式会社 福岡支店 九州グローバルロジスティクス企画 次長
三笥 修一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任
秋本 佐代子	麻生外語観光&製菓専門学校 国際貿易科 専任教員
柳瀬 美和	麻生外語観光&製菓専門学校 国際貿易科 専任教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年6月25日 15:30～17:30

平成27年度 第2回 平成27年10月22日 15:30～17:30

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～17:30

平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。グローバル社会において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
貿易概論	海運を中心に貿易の流れを理解する。輸出入取引の実務ならびに、関連する条約や法律の基礎知識を理解習得する。実務の業務を想定したケーススタディや、課題研究を取り入れた授業を通して、実践力を育成する。	極東海運株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

グローバル人材として求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングや各種研修会に参加し情報収集することにより、社会の動向を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科1年生 保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生
久永 妙美	平成21年度 卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長

松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
加藤 博志	九州B.M.C.会長
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長
長 加奈子	福岡大学 准教授
芳野 香織	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 国際旅客サービス課マネージャー
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 ラインハンドリング3課マネージャー
平野 孝文	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長ー人材開発担当
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
江口 克司	株式会社ニューオータニ九州 ブライダル担当部長
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
宮川 正和	パティスリーポッシュ オーナーシェフ
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
船橋 修	ロイヤルホールディング株式会社経営企画部ロイヤルグループ採用・教育担当課長
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_aftc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際貿易科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			貿易概論	海運を中心に貿易の流れを理解する。	1前	15	1	△	○		○			○	○
○			通関業法Ⅰ	通関業者について定めた法律を学ぶ	1前	15	1	○			○		○		
○			関税法ⅠA	輸出や輸入の定義をはじめ、関税全般について学ぶ	1前	60	4	○			○			○	
○			関税定率法ⅠA	税率の考え方や減免税制度などについて学ぶ	1前	60	4	○			○		○		
○			通関実務ⅠA	輸出入申告書の作成、課税価格の計算方式について学ぶ	1前	30	2	○			○		○		
○			通関士試験対策ⅠA	通関士試験の対策を通して、通関士に対する理解を深め、通関士試験合格を目指す	1前	30	2	○			○		○		
○			航空概論	航空業界の基礎を学び、航空貨物の流れを理解する	1前	30	2	○			○		○		
○			実用英語Ⅰ	実用英語技能検定試験対策授業。貿易業界に必要な語学力を伸ばす	1前	60	4	○			○		○	△	
○			英会話ⅠA	業界に必要な英語運用能力の基礎を学ぶ	1前	30	2	○			○			○	
○			通関士試験対策ⅠB	試験対策を通して、通関士に対する理解を深め、通関士試験合格を目指す	1後	40	2	○			○		○		
○			関税法ⅠB・関税定率法ⅠB	関税法・関税定率法に関して学ぶ	1後	30	2	○			○		○		

○		通関実務ⅠB	輸出入申告書の作成、課税価格の計算方式について学ぶ	1後	30	2	○			○		○		
○		貿易実務Ⅰ	貿易実務検定C級合格に必要な知識を学ぶ	1後	45	3	○			○		○		
○		貿易英語Ⅰ	貿易実務検定C級合格に必要な専門用語を学び、読解力を伸ばす	1後	30	2	○			○		○		
○		IATAディプロマ基礎	国際航空貨物取扱士（ディプロマ）の基礎を学ぶ	1後	45	3	○			○				○
○		TOEIC対策	TOEIC対策をしながら、貿易業界に必要な語学力を伸ばす	1後	30	2	○			○		○		△
○		英会話ⅠB	業界に必要な英語運用能力の基礎を学ぶ	1後	30	2	○			○				○
○		IATAディプロマ応用	国際航空貨物取扱士（ディプロマ）の取得を目指す	2前	45	3	○			○				○
○		世界文化地理	海外とのやりとりを視野に入れ、世界の文化、商習慣などの違いを学ぶ	2前	30	2	○			○				○
○		実用英語ⅡA	英語の検定の学習を通して、語学力を身に付ける	2前	60	4	○			○		○		△
○		英会話ⅡA	業界に必要な英語運用能力を養う	2前	30	2	○			○				○
○		中国語A	第2外国語として中国語の基礎を習得する	2前	30	2	○			○				○
○		通関実務演習	通関士対策試験で学んだ内容を実践力につなげる	2後	30	2	○			○		○		
○		実用英語ⅡB	英語の検定の学習を通して、語学力を身に付ける	2後	60	4	○			○		○		△
○		英会話ⅡB	業界に必要な英語運用能力を養う	2後	30	2	○			○				○

○		中国語 B	第 2 外国語として中国語の習得を目指す	2 後	30	2	○			○								
○		卒業研究	各自でテーマを設定し、これまで学んだ内容をまとめ、発表できるようにする	2 後	90	6	○	△		○			○					
○	A	物流概論	陸・空・海すべての物流に関して学ぶ	2 前	30	2	○			○								○
○	B	通関総合演習	通関士対策の総まとめとして問題演習で力をつける	2 前	15	1	○			○								○
○	B	通関業法 II	通関業者について定めた法律についてさらに深く学ぶ	2 前	15	1	○			○								○
○	A	貿易実務 II A	貿易実務検定 B 級合格に必要な知識を学ぶ	2 前	60	4	○			○								○
○	B	関税法 II A	関税法全般についてさらに深く学ぶ	2 前	60	4	○			○								○
○	A	貿易英語 II A	貿易実務検定 B 級合格に必要な専門用語を学び、読解力を伸ばす	2 前	60	4	○			○								○
○	B	関税定率法 II A	税率の考え方や減免税制度などについてさらに深く学ぶ	2 前	60	4	○			○								○
○	A	総合演習 A	総合的な知識を身につけ、幅広い業界で活躍できるような素地を備えることを目的とする	2 前	60	4	○	△		○								○
○	B	通関実務 II	輸出入申告書の作成、課税価格の計算方式について深く学ぶ	2 前	30	2	○			○								○
○	B	通関士試験対策 II A	通関士試験の対策を通して、通関士に対する理解をさらに深め、通関士合格を目指す	2 前	30	2	○			○								○
○	A	貿易実務 II B	貿易実務検定 B 級合格の取得を目指す	2 後	30	2	○			○								○
○	B	関税法 II B・ 関税定率法 II B	関税法・関税定率法に関して深く学ぶ	2 後	30	2	○			○								○

		○	通関士試験対策ⅡB	通関士試験の問題練習を通し、通関士試験合格を目指す	2後	40	2	○			○		○					
○			G C B I	様々な事例について話し合うことにより、「感謝と思いやり」を学ぶ	1前	15	1	○			○		○					
○			コミュニケーション技法A	人前で話す・聞く・会話することを通して、自己表現力をつける	1前	15	1	△	○		○							○
○			Word	ビジネス文書作成方法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1前	60	4	△	○		○							○
○			一般教養ⅠA	就職対策として一般教養の基礎知識を学ぶ	1前	30	2	○			○							○
○			社会教養ⅠA	就職に対する基礎知識、履歴書作成、面接練習など、就職内定へ向けての実践授業	1前	30	2	○			○		○					
○			Excel	グラフ・表作成方法を学び、Excel検定3級取得を目指す	1後	45	3	△	○		○							○
○			一般教養ⅠB	一般教養ⅠAに続き、就職対策として一般教養の基礎知識を学ぶ	1後	30	2	○			○							○
○			社会教養ⅠB	社会教養ⅠAに続き、就職に対する基礎知識、履歴書作成、面接練習など、就職内定へ向けての実践授業	1後	30	2	○			○		○					
○			ビジネス実務Ⅰ	社会人として必要なビジネス上のマナーの基礎を学ぶ	1後	30	2	○	△		○							○
○			コミュニケーション技法B	人前で話す。聞く・会話することを通して、就職面接対策とする	1後	15	1	△	○		○							○
○			ペン字	履歴書作成のために美しい字が書ける技術を身につける	1後	15	1	△	○		○							○
○			G C B Ⅱ	著名人や偉人の人生や教訓を通して、「志」を学ぶ	2後	15	1	○	△		○							○
○			一般教養ⅡA	就職試験対策の一環として、筆記試験の力を身につける	2前	30	2	○			○							○

○		社会教養ⅡA	就職活動の準備から社会人としての基礎知識習得を目指す	2前	30	2	○		○	○				
○		ビジネス実務ⅡA	ビジネス能力検定（B検）3級の合格に必要なビジネスマナーの知識を学ぶ	2前	30	2	○		○		○			
○		一般教養ⅡB	就職試験対策の一環として、筆記試験の力をさらに身につける	2後	15	1	○		○				○	
○		社会教養ⅡB	社会人として必要な基礎知識や考え方などを学ぶ	2後	30	2	○		○		○			
○		ビジネス実務ⅡB	ビジネス能力検定（B検）3級の取得を目指す	2後	30	2	○	△	○				○	
○		貿易事務演習	一般事務や貿易事務で取り扱う書類について、実践を通して学ぶ	2後	15	1	△	○	○		○			
○		文化教養スポーツ演習	社会人として必要な教養を、体験を通して学び、また基礎体力をつけることを目的とする	2後	15	1	△	○		△	○	○		
	○	海外研修旅行Ⅰ	机上で学んだ知識を体験を通して身につける	1後	32	0			○		○			
	○	海外研修旅行Ⅱ	机上で学んだ知識を体験を通して身につける	2後	32	0			○		○			
	○	企業インターンシップ	実際に企業を訪問し、経験を通して業界への理解を深める	1後	40	1			○		○			
合計				52科目		1810単位時間(120 単位)								

選択必修科目は、※Aか※Bの科目を選択

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。